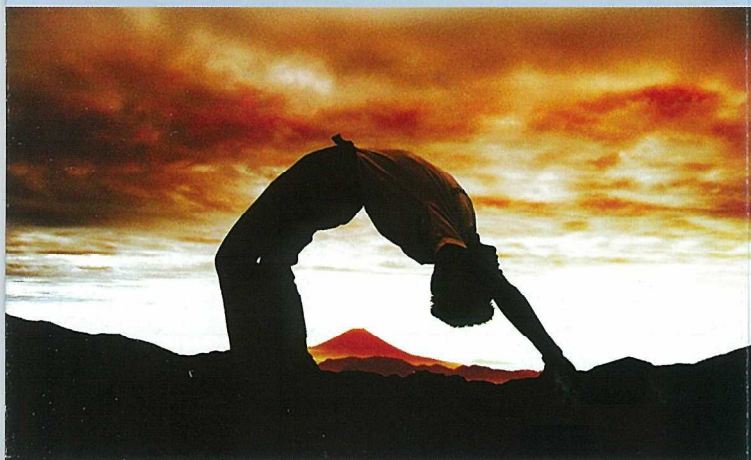


# 鈴鹿工業高等専門学校



SNCT GUIDE  
2006

## 基本理念

### 教育理念

- (1) 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養する。
- (2) 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成する。
- (3) 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てる。
- (4) 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てる。

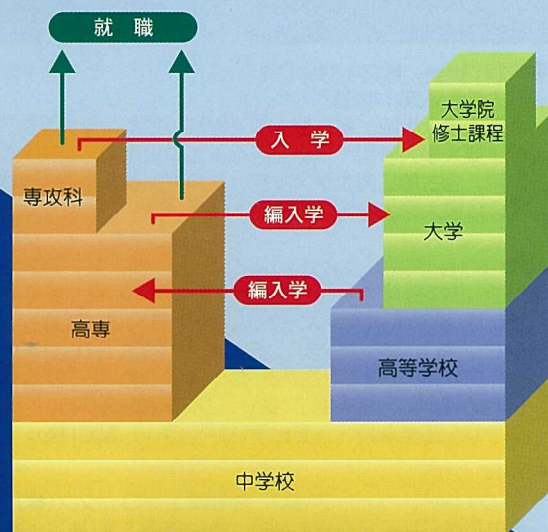
### 養成すべき人材像

- (1) 生涯にわたり継続的に学修し、広い視野と豊かな人間性をもった人材を養成する。
- (2) 高い専門知識と技術を有し、深い洞察力と実践力を備えた人材を養成する。
- (3) 課題探求能力と問題解決能力を身につけた創造性豊かな人材を養成する。
- (4) コミュニケーション能力に優れ、国際性を備えた人材を養成する。

## 求められる入学志願者像

- ・自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・自らの向上をめざして継続的に自己学習ができる人
- ・何事にも積極的に挑戦できる意志と意欲のある人

## 高専制度



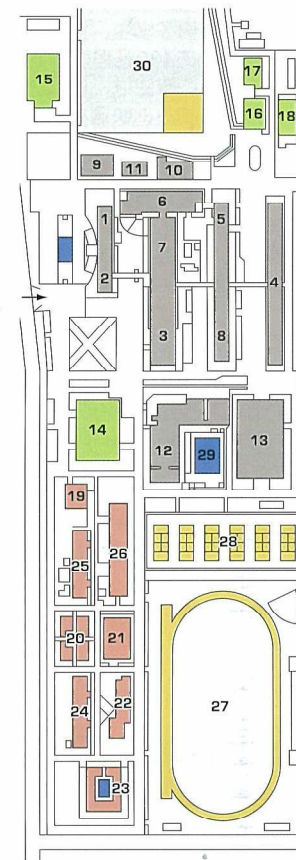
## アクセス

近鉄名古屋線白子駅下車。白子駅西口から三重交通バス平田町行き・鈴鹿サーキット行きに乗車約10分。東旭が丘3丁目で下車。バス停から徒歩10分。



## 校内地図

- 1 管理事務部
- 2 一般科目
- 3 教室
- 4 機械工学科
- 5 電気電子工学科
- 6 電子情報工学科
- 7 生物応用化学科
- 8 材料工学科
- 9 専攻科
- 10 共同研究推進センター
- 11 材料分析室
- 12 マルチメディア棟
- 13 実習センター
- 14 第1体育館
- 15 第2体育館
- 16 剣道場（修道館）
- 17 柔道場（弘道館）
- 18 弓道場（志誠館）
- 19 青峰会館
- 20 寮管理棟
- 21 寮食堂
- 22 青峰寮A
- 23 第1青峰寮
- 24 第2青峰寮
- 25 第3青峰寮
- 26 第4青峰寮
- 27 陸上競技場
- 28 テニスコート
- 29 プール
- 30 野球場



## 教育活動等

### 国際交流

米国・オハイオ州立大学、カナダ・ジョージアン技術大学、中国・常州情報職業技術学院と学術文化交流協定を締結している。平成14年度からは、オハイオ州立大学へ学生を派遣し、専門授業・学生間交流会への参加や教育施設等の見学をとおしてアメリカを社会体験している。今後、長期インターンシップ制度を利用してカナダ・ジョージアン技術大学への留学も計画している。

また、本校では、アジア諸国からの多くの留学生を受け入れている。



### 学生寮

校内に、男子学生、女子学生、留学生を含めて430名程度収容できる学寮があり、寮生は、優れた環境の中で勉学に励み、快適な共同生活を楽しんでいる。学寮は、友愛、協力、自立の精神を培い、将来有為な技術者として必要な資質を養うための教育施設でもある。そのために、教員が寮監として指導にあたり、規律ある生活ができるよう配慮されている。



### 学生の活躍 (平成17年度)

プログラミングコンテスト  
全国高校ウオーターポーズ選手権  
全国高専体育大会

敢闘賞 (課題、自由部門)  
優勝  
準優勝 (剣道団体・個人、女子バレーボール、女子バスケットボール)

県高校弓道新人大会  
三重県高等学校将棋選手権大会  
国民体育大会バスケットボール

男子個人優勝、男子団体3位  
個人戦優勝  
三重県代表として1名出場 (全国3位)

平成17年度工業英語能力検定試験

文部科学大臣奨励賞



## 学生数 (平成18年4月1日現在)

学科	定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
機械工学科	40	43	44	51	41	42	221
電気電子工学科	40	43	40	47	45	42	217
電子情報工学科	40	44	35	50	52	38	219
生物応用化学科	40	45	42	43	52	41	223
材料工学科	40	43	41	45	45	47	221
合計	200	218	202	236	235	210	1,101

専攻科	定員	1年	2年	計
電子機械工学専攻	12	14	21	35
応用物質工学専攻	8	9	14	23
合計	20	23	35	58



### 卒業後の主な進路 (平成17年度)

#### ○進学

##### 学科

- ・本校専攻科 23名
- ・大学編入学 72名  
東京大学、京都大学、大阪大学、東北大学、北海道大学、名古屋大学、東京工業大学、神戸大学、奈良女子大学、筑波大学、広島大学、岡山大学、金沢大学、三重大学、岐阜大学、信州大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、立命館大学 他

##### 専攻科

- ・大学院入学 14名  
大阪大学大学院、名古屋大学大学院、三重大学大学院、九州工業大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、筑波大学大学院、名古屋工業大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学大学院、早稲田大学大学院

#### ○就職

##### 学科 117名

- 旭化成(株)、(株)INAX、オリンパス(株)、花王(株)、京セラ(株)、グンゼ(株)、サントリー(株)、シャープ(株)、中部電力(株)、東海旅客鉄道(株)、東レ(株)、トステム(株)、日清紡績(株)、日東電工(株)、日本車輛製造(株)、ブラザー工業(株)、三菱化学(株)、ロート製薬(株) 他

##### 専攻科 20名

- 旭化成(株)、シャープ(株)、鈴鹿富士ゼロックス(株)、住友電装(株)、日東電工(株)、本田技研工業(株) 他

## 地域貢献・地域開放事業

#### 中学生向け公開講座

- ・機械工学のひとつま
- ・やさしいエレクトロニクス教室
- ・Flashで動く！魅せる!! ホームページ作り
- ・身のまわりのおもしろ化学実験
- ・作ってみよう、調べてみよう、マテリアル

#### 小学生向け公開講座 (小学5、6年生)

- ・ワイヤレスマイクをつくろう!!

#### オープンカレッジ (小中学生、一般市民)

科学、工学に楽しくふれあってもらう事を目的に実施しています。

#### 小学校へのお出前授業

鈴鹿市、津市の教育委員会と連携して実施しています。授業を受けた小学生からは理科が好きになったなどの声が多く聞かれます。

#### 技術相談

地域貢献の一環で技術相談を実施しています。技術相談から共同研究を実施したケースもありますので、お気軽にご連絡ください。  
<連絡先>共同研究推進センター TEL059-368-1981

## 施設紹介

### 図書館

所蔵図書は、95,000冊以上あり、専門図書に限らず一般図書も多数所蔵しています。

また、一般の方々に生涯学習の場として開放しています。

開館日 平日 9:00~22:00  
土曜日 9:00~17:00

休館日 日曜、祝日

(学生イベント、夏季休業期間等で休館日、時間の変更等がありますので、ホームページか、電話で確認してください。)

<連絡先>図書館 TEL059-368-1733



### その他施設

- ◆情報処理センター
- ◆実習センター
- ◆青峰会館
- ◆学生寮
- ◆共同研究推進センター

## 研究活動

### ■科学研究費補助金（平成18年度）

研究種目	採択件数	金額(円)
基盤研究(C)	4	3,100,000
萌芽研究	1	500,000
若手研究(B)	5	3,600,000
計	10	7,200,000

### ■外部資金（平成17年度）

区分	件数	金額(円)
民間との共同研究	5	3,658,000
受託研究	2	3,000,000
奨学寄附金	36	21,871,003

## 収入・支出（平成17年度）

収入	金額(千円)	支出	金額(千円)
運営費交付金	1,316,279	業務費	1,619,527
施設整備費補助金	26,640	施設整備費	26,640
自己収入	303,248	産学連携等研究費	7,008
産学連携等研究収入	6,658		
合計	1,652,825	合計	1,653,175

※産学連携等研究費支出額7,008千円のうち、350千円は昨年度繰越分

## 教職員数（平成18年4月1日現在）

校長	教授	助教授	講師	助手	事務職員	技術職員	計
1	33	26	20	5	30	19	134



## 目 標

### 1 教育に関する目標

#### 【学科教育】

5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための基礎的な知識と技術及び生涯にわたり学習する力を育てる。

#### 【専攻科教育】

より高度で幅広い専門知識や創造力、判断力を身に付け、科学技術の分野で国際的に活躍できる実践的技術者を育てる。

### 2 研究に関する目標

研究活動の活性化を図るため、校長裁量経費を活用して、学科間を越えたプロジェクト研究を推進するとともに、複合・融合領域における研究テーマを創出し、産学官連携の共同研究を推進する。

### 3 社会との連携や国際交流に関する目標

地域交流・地域連携・産学官連携等を通じて本校の教育研究の成果を社会に還元し、その連携協力を努める。また、地域の生涯学習機関としての役割を果たす。

さらには、外国の高等教育機関との協定に基づく学生の国際交流を継続発展させ、国際的な視野と知見を備えた技術者の育成を図るとともに、留学生の受入れを積極的に挙げる。

### 4 管理運営に関する目標

校長のリーダーシップの下に、運営会議を中心とした施策立案、審議執行及び評価監査のサイクルを確立するとともに、迅速かつ効率的な運営を図るため、運営会議及び各種委員会の位置付け、機能及び審議・協議事項の明確化を図る。

また、本校における教育研究等の活動全般について自己点検・評価を行うとともに、広く外部からの意見を取り入れ、開かれた学校運営を行う。

さらには、限られた各種資源を戦略的に配分するため、本校の運営方針に基づき、重点的に資源配分する仕組みを整備するとともに、事務組織の機能、編成等を見直し、事務処理の効率化・簡素化並びに事務職員及び技術職員の資質の向上に努める。

## 沿革

昭和37年4月1日 鈴鹿工業高等専門学校を設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科で発足）

昭和41年4月1日 金属工学科設置

昭和61年4月1日 金属工学科を材料工学科に改組

平成元年4月1日 電子情報工学科設置

平成2年6月5日 オハイオ州立大学工学部と学術交流協定締結

平成3年10月9日 カナダ・ジョージアン技術大学と学術文化交流協定締結

平成5年4月1日 専攻科（電子機械工学専攻、応用物質工学専攻）設置

平成9年4月1日 工業化学科を生物応用化学科に改組、生物化学及び応用化学の2コース制を開設

平成14年4月1日 共同研究推進センター発足

平成15年4月1日 電気工学科を電気電子工学科に名称変更

平成16年4月1日 国（文部科学省）から独立行政法人国立高等専門学校機構へ移管

平成16年5月10日 技術者教育プログラム「複合型生産システム工学」がJABEEから認定

平成18年3月20日 高等専門学校評価基準を大学評価・学位授与機構から認定

平成18年4月18日 中国・常州信息職業技術学院と学術文化交流協定締結

## 教員一覧

職名	氏名	専門分野
校長	中根 孝司	著作権法・宗教法

一般科目		
職名	氏名	専門分野

教授	修士 奥 貞二	ギリシャ哲学・ギリシャ語
教授	修士 西岡 將美	日本上代文学・国語教育
助教授	修士 小倉 正昭	中国史
助教授	修士 久留原昌宏	日本近代文学
講師	修士 石谷 春樹	日本近代文学
教授	修士 斎藤 洪一	微分幾何・数学教育
教授	博士 安富 真一	整数論
助教授	修士 横山 定晴	位相幾何
助教授	修士 佐藤 学	代数学
助教授	修士 伊藤 清	リー環論
講師	博士 堀江 太郎	整数論
講師	修士 川本 正治	幾何学
講師	博士 大貫 洋介	代数学（多元環の表現論）
教授	大矢 弘男	物性物理
教授	博士 土田 和明	生物物理学
教授	博士 田村陽次郎	生物物理学・生体工学
助教授	博士 山崎 賢二	触媒化学
講師	博士 仲本 朝基	原子核理論
教授	博士 宮崎 雄三	体育測定法
教授	細野 信幸	武道・剣道
助教授	船越 一彦	トレーニング理論
教授	修士 松林 嘉熙	英文学・地方教育史
教授	修士 出口 芳孝	言語学・自然言語処理
教授	中井 洋生	英語学・言語学
助教授	修士 林 浩士	英語教育学
講師	博士 マイケル E ローソン	社会学
講師	修士 日下 隆司	アメリカ文学
講師	修士 齊藤 園子	英米文学

職名	氏名	専門分野
----	----	------

助教授	博士 伊藤 保之	マイクロ波工学
助教授	博士 中野 莊	制御電子工学
助教授	修士 奥田 一雄	電子機器・電子材料工学
助教授	博士 川口 雅司	情報処理工学
講師	博士 西村 一寛	磁性材料・電気工学
助手	博士 奥野 正明	電気機器工学
助手	博士 柴垣 寛治	プラズマ理工学・量子エレクトロニクス

### 電子情報工学科

職名	氏名	専門分野
教授	博士 齊藤 正美	情報システム
教授	博士 桑原 裕史	電子計測
教授	博士 井瀬 潔	電子工学
助教授	伊藤八十四	電子工学
助教授	修士 長嶋 孝好	情報工学
助教授	博士 伊藤 明	電子計測
講師	修士 平野 武範	情報工学
講師	博士 吉川 英樹	符号理論
講師	博士 田添 文博	自然言語処理
講師	博士 瀧美 清隆	情報セキュリティ
講師	博士 筑浦 弘人	バーチャリアリティ
助手	博士 青山 俊弘	情報工学・生体工学

### 生物応用化学科

職名	氏名	専門分野
教授	博士 松田 正徳	界面化学
教授	博士 富澤好太郎	理論有機化学・有機光化学
教授	博士 杉山 利章	機器分析化学
教授	博士 内藤 幸雄	生物化学・蛋白質工学
教授	博士 生貝 初	微生物学・細菌毒素
教授	博士 岩田 政司	固液分離・環境保全工学
助教授	博士 澤田 善秋	化学工学
助教授	博士 長原 滋	有機合成化学
助教授	博士 下野 晃	無機材料化学
講師	博士 中山 浩仲	分子生物学・遺伝子工学
講師	博士 高倉 克人	構造有機化学
助手	博士 淀谷 真也	高分子化学・有機化学

### 材料工学科

職名	氏名	専門分野
教授	博士 小倉 弘幸	物理化学・電気化学
教授	博士 国枝 義彦	セラミックス・複合材料
教授	博士 井上 哲雄	非鉄金属
教授	博士 江崎 尚和	金属物理・合金設計
助教授	修士 岡部 純一	材料表面工学
助教授	博士 小林 達正	金属物理
助教授	博士 兼松 秀行	熱表面処理工学
助教授	博士 下古谷博司	有機化学・生化学
講師	博士 和田 憲幸	ガラス・セラミックス
講師	博士 黒田 大介	加工熱処理学・金属組織学
助手	修士 南部 智憲	金属物理・合金設計

## 専攻科教育

JABEEの認定基準に準拠した複合型生産システム工学分野で技術革新を担うことができる高度で幅広い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力、課題探求・問題解決能力、技術者倫理を含む総合的判断力、英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、技術開発の場で新たな価値を創造する力を育てる。また、修了生は大学卒業と同等の学位（学士）を修得する。

### 電子機械工学専攻

機械工学、電気電子工学、電子情報工学等の学科出身者を対象として、機械・生産システム、メカトロニクス、計測制御技術、エレクトロニクス、情報技術などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養う。

### 応用物質工学専攻

生物応用化学、材料工学等の学科出身者を対象として、ファインケミストリー、バイオテクノロジー、材料プロセス、環境保全・リサイクル技術、及び機能性新素材などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養う。



## 世界水準を保証する 技術者教育プログラムの推進

「複合型生産システム工学」教育プログラムは、学科4・5年及び専攻科1・2年の4年間で学習する工学（融合複合・新領域）関連分野の技術者教育プログラムです。高専教育の特徴である早期7年一貫教育により、主となる専門分野（機械、電気・電子・情報、化学、生物、材料）に加えて、中京地区の伝統的特徴である“ものづくり”に必要な生産システムに関する工学基礎知識と、豊富な実験技術、新たな価値を創り出すことが出来る能力を身に付けた国際的に活躍できる実践的技術者の育成を目指す。

このプログラムは、平成16年5月に日本技術者教育認定機構（JABEE）から正式認定を受け、技術社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を受けた。

## 学科教育

5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための基礎的な知識と技術及び生涯にわたり学習する力を身に付けた人材を育てる。



### 機械工学科

機械工学に関する理論と知識（材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産、機械とシステム等）、実験技術を習得させるとともに、応用・展開力、創造性を養う。

### 電気電子工学科

電気電子工学に関する理論と知識（電気磁気学、電気回路、電気機器、電気電子制御、電子デバイス、情報通信基礎等）及び科目選択に基づく専門知識（電気エネルギー系科目又は情報通信系応用科目）並びに豊富な実験技術を習得させるとともに、創造性を養う。

### 電子情報工学科

電子情報工学に関する理論と知識（電気磁気学、電子回路、電子工学、電子制御、ソフトウェア工学、計算機工学、情報伝送工学等）、実験技術及びそれらの融合化技術に関する知識を習得させるとともに、創造性を養う。

### 生物応用化学科

化学に関する理論と知識（物理化学系科目、無機化学系科目、有機化学系科目、分析化学系科目、生物化学系科目等）及び応用化学、生物化学いずれかの選択に基づくコース別専門知識（工業化学系科目、化学工学系科目、環境工学系科目、細胞工学系科目、遺伝子工学系科目等）並びに豊富な実験技術を習得させるとともに、創造性を養う。

### 材料工学科

材料工学に関する理論と知識（材料の物理と化学、材料の構造・物性・機能、製造プロセス、材料設計等）及び豊富な実験技術を習得させるとともに、それらを応用して材料に関連する諸問題を解決できる創造性を養う。

海ある 東方

さし来る 光に

さし来る 光に

かがやくよ 若人われら

かがやくよ 学問の道

発行  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
鈴鹿工業高等専門学校  
〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町  
TEL 059-386-1031 (代表)  
FAX 059-387-0338  
<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>